

食品安全委員会の運営について（令和5年1月～令和5年3月）（案）

1. 食品安全委員会の開催

1月：884回・885回・886回・887回（4回）

（1）食品健康影響評価の要請案件（6品目）

農薬（1品目）	・グリホサート(1/31)
動物用医薬品（1品目）	・馬鼻肺炎生ワクチン（エクエヌテクトERP）（1/17）
遺伝子組換え食品等（3品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・ <i>Geobacillus stearothermophilus</i> TP7株を使用して生産されたプロテアーゼ(1/17) ・ <i>Trichoderma reesei</i> RF6197株を使用して生産されたペクチナーゼ(1/17) ・ <i>Trichoderma reesei</i> RF6201株を使用して生産されたペクチナーゼ(1/17)
飼料添加物（1品目）	・ 遺伝子組換え技術によって得られた <i>Komagataella phaffii</i> を利用して生産されたフィターゼ(1/24)

（2）食品健康影響評価の結果通知案件（7品目）

農薬（3品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・ ピジフルメトフェン(1/17) <u>ADIを0.099 mg/kg体重/日、ARfDを0.3 mg/kg体重と設定</u> ・ ピリベンカルブ(1/17) <u>ADIを0.039 mg/kg体重/日、ARfDを1.1 mg/kg体重と設定</u> ・ グルホシネート(1/31) <u>ADIを0.0091 mg/kg体重/日、ARfDを0.01 mg/kg体重と設定</u>
動物用医薬品（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 馬鼻肺炎生ワクチン（エクエヌテクトERP）（1/17） <u>食品安全基本法第11条第1項第2号の「人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるとき」に該当。</u>
遺伝子組換え食品等（2品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長鎖多価不飽和脂肪酸含有及びイミダゾリノン系除草剤耐性セイヨウナタネLBFLFK（食品）(1/31) <u>「遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準」に基づき評価した結果、人の健康を損なうおそれはないと判断した。</u> <u>なお、本系統は、宿主の代謝系における一部の代謝産物が利用され、宿主が有していない新たな代謝産物を合成する形質が付与されていることから、セイヨウナタネLBFLFKを用いた掛け合わせ品種は、「遺伝子組換え植物の掛け合わせについての安全性評価の考え方」に従い、食品健康影響評価を実施することとする。</u> ・ 長鎖多価不飽和脂肪酸含有及びイミダゾリノン系除草剤耐性セイヨウナタネLBFLFK（飼料）(1/31) <u>「遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方」に基づき評価した結果、改めて「遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準」に準じて評価を行う必要はなく、当該飼料を摂取した家畜に由来する畜産物については、人の健康を損なうおそれはないと判断した。</u>

飼料添加物（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ギ酸を有効成分とする飼料添加物（水酸化ナトリウム混和製剤）(1/17) 飼料添加物として適切に使用される限りにおいては、食品を通じて人の健康に影響を与える可能性は無視できる程度と考えた。
------------	---

2月：第888回・889回・890回・891回（4回）

（1）食品健康影響評価の要請案件（2品目）

添加物（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> 第10版食品添加物公定書の作成のための規格基準の改正(2/28)
肥料（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> 菌体りん酸肥料(2/14)

（2）食品健康影響評価の結果通知案件（7品目）

添加物（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> 第10版食品添加物公定書の作成のための規格基準の改正(2/28) 食品安全基本法第11条第1項第2号の「人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるとき」に該当
農薬（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ジメトモルフ(2/21) ADIを0.11 mg/kg体重/日、ARfDを0.6 mg/kg体重と設定
動物用医薬品（2品目）	<ul style="list-style-type: none"> クロステボル(2/7) 「暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について」の3の（4）に該当する成分であると判断され、本成分が食品を介して人の健康に及ぼす影響を評価することはできないと判断した。 トリブロムサラン(2/7) 「暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について」の3の（4）に該当する成分であると判断され、本成分が食品を介して人の健康に及ぼす影響を評価することはできないと判断した。
<ul style="list-style-type: none"> 遺伝子組換え食品等(3品目) 	<ul style="list-style-type: none"> コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP23211）（食品）(2/14) 「遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準」に基づき評価した結果、人の健康を損なうおそれはないと判断した。 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP23211）（飼料）(2/14) 「遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方」に基づき評価した結果、改めて「遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準」に準じて安全性評価を行う必要はなく、当該飼料を摂取した家畜に由来する畜産物については、人の健康を損なうおそれはないと判断した。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ JPBL013株を利用して生産された α-アミラーゼ (2/28) <u>「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準」に基づき評価した結果、人の健康を損なうおそれはないと判断した。</u>
--	---

(3) その他

- 有機フッ素化合物 (PFAS) ワーキンググループの設置 (2/7)
- 令和5年度食品安全モニターの依頼について (2/14)
- 令和4年度食品健康影響評価技術研究課題の中間評価結果及び令和5年度食品健康影響評価技術研究の新規対象課題 (案) 決定 (2/21)
- 令和5年度食品安全確保総合調査課題 (案) 決定 (2/28)
- 「動物用医薬品等の再審査制度の見直しについて」報告 (2/28)

3月：第892回・893回、894回 (3回)

(1) 食品健康影響評価の要請案件 (13品目)

食品衛生法第13条第3項の規定に基づき、人の健康を損なうおそれのないことが明らかであるものとして厚生労働大臣が定める物質 (1品目)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発芽スイートルーピン抽出たんぱく質 (3/14)
農薬 (6品目)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1-メチルシクロプロペン (3/14) ・ クロルフルアズロン (3/14) ・ テブフェンピラド (3/14) ・ エスプロカルブ (3/28) ・ フェンメディファム (3/28) ・ フサライド (3/28)
農薬及び動物用医薬品 (1品目)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブロフラニリド (3/14)
動物用医薬品 (3品目)	<ul style="list-style-type: none"> ・ フェノキシエタノール (3/14) ・ フェノキシエタノールを有効成分とするすずき目魚類の薬浴剤 (製剤名：バイオネンネ) (3/14) ・ ブロフラニリドを有効成分とする鶏舎噴霧剤 (リブケアFL) (3/14)
遺伝子組換え食品等 (1品目)	<ul style="list-style-type: none"> ・ JPAo012株から生産されたフィターゼ (3/28)
飼料添加物 (1品目)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3-ニトロオキシプロパノール (3/14)

(2) 食品健康影響評価の結果通知案件 (11品目)

食品衛生法第13条第3項の規定に基づき、人の健康を損なうおそれのないことが明らかであるものとして厚生労働大臣が定める物質 (対象外物質) (2品目)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 酸化亜鉛 (3/14) <u>農薬として想定しうる使用方法に基づき通常使用される限りにおいて、食品に残留することにより人の健康を損なうおそれのないことが明らかであると考えられる。</u> ・ 次硝酸ビスマス (3/14) <u>動物用医薬品として通常使用される限りにおいて、食品に残</u>
--	--

	<p><u>留することにより人の健康を損なうおそれのないことが明らかであると考えた。</u></p>
農薬（4品目）	<ul style="list-style-type: none"> <p>・プロチオコナゾール(3/14) <u>ADIを0.011 mg/kg体重/日、一般の集団に対するARfDを1 mg/kg体重、妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対するARfDを0.02 mg/kg体重と設定</u></p> <p>・シフルフェナミド(3/14) <u>ADIを0.041 mg/kg体重/日と設定し、ARfDは設定する必要がないと判断した。</u></p> <p>・フェナミホス(3/14) <u>ADIを0.0008 mg/kg体重/日、ARfDを0.0025 mg/kg体重と設定</u></p> <p>・キザロホップエチル及びキザロホップPテフリル(3/28) <u>グループADIを0.009 mg/kg体重/日、グループARfDを0.3 mg/kg体重と設定</u></p>
動物用医薬品（3品目）	<ul style="list-style-type: none"> <p>・シフェノトリン(3/7) <u>ADIを0.015 mg/kg体重/日（<i>d</i>・<i>d</i>-T-シフェノトリン及び<i>d</i>-T80-シフェノトリンを含む）とする。</u></p> <p>・<i>d</i>・<i>d</i>-T-シフェノトリンを有効成分とする豚舎噴霧剤（カーボジェット、ファームクリン）(3/7) <u><i>d</i>・<i>d</i>-T-シフェノトリンを有効成分とする豚舎噴霧剤（カーボジェット、ファームクリン）が適切に使用される限りにおいては、食品を通じて人の健康に影響を与える可能性は無視できる程度と考えた。</u></p> <p>・次硝酸ビスマスをも有効成分とする牛の乳房注入剤（オルベシール）(3/14) <u>次硝酸ビスマスをも有効成分とする牛の乳房注入剤（オルベシール）が適切に使用される限りにおいては、食品を通じて人の健康に影響を与える可能性は無視できる程度と考えた。</u></p>
遺伝子組換え食品等（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> <p>・JPAo009株から生産されたグルコースオキシダーゼ(3/28) <u>遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準に基づき評価した結果、人の健康を損なうおそれはないと判断した。</u></p>
薬剤耐性菌（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> <p>・マルボフロキサシンを有効成分とする牛の注射剤（フォーシル）(3/7) <u>評価対象動物用医薬品であるフルオロキノロン系抗菌性物質が、牛及び豚に使用された結果としてハザードが選択され、牛及び豚由来食品を介して人がハザードにばく露され、人用抗菌性物質による治療効果が減弱又は喪失する可能性は否定</u></p>

できず、リスクの程度は中等度であると考えた。

(3) その他

「企業申請品目に係る食品健康影響評価についての標準処理期間の達成状況」報告 (3/7)

微生物・ウイルス専門調査会の審議結果として「食品により媒介される微生物等に関する食品健康影響評価の手引き」を公表する旨、報告 (3/28)

「トライアルの結果を踏まえた養殖魚に抗菌性物質を使用した際に選択される薬剤耐性菌の評価の進め方」報告 (3/28)

2. 専門調査会等の運営 (全27回)

専門調査会等名	開催回数	調査審議案件
企画等	1回	・令和4年度食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件候補の選定について、令和5年度食品安全委員会運営計画について、令和4年度食品安全委員会緊急時対応訓練結果及び令和5年度食品安全委員会緊急時対応訓練計画について(1/26)
添加物	1回	・亜塩素酸水(2/10)
農薬第一	3回	・チフルザミド(1/20) ・チオベンカルブ(2/24) ・チフルザミド、ブタクロール(3/17)
農薬第二	1回	・ジメスルファゼット(1/18)
農薬第三	1回	・1,4-ジメチルナフタレン(2/13)
農薬第五	1回	・シフルフェナミド(2/2)
動物用医薬品	3回	・ポジ剤スキームの改正(1/23_1) ・エマメクチン安息香酸塩(1/23_2)(3/16)
汚染物質等	2回	・カドミウム(2/6)(3/16)
プリオン	1回	・座長の選出、鹿慢性消耗病(CWD)ファクトシートの更新について(3/2)
遺伝子組換え食品等	4回	・遺伝子組換え食品等の安全性評価基準改正の検討について(2/17_1)(3/23_1) ・ <i>Geobacillus stearothermophilus</i> TP7株を利用して生産されたプロテアーゼ(2/17_2) ・ <i>Trichoderma reesei</i> RF6197株を利用して生産されたペクチナーゼ(3/23_2) ・ <i>Trichoderma reesei</i> RF6201株を利用して生産されたペクチナーゼ(3/23_2)
肥料・飼料等	3回	・菌体りん酸肥料(2/22_1) ・マルボフロキサシンを有効成分とする牛の注射剤(フォーシル)(2/22_2) ・シンナムアルデヒド(2/22_2) ・ <i>Komagataella phaffii</i> BSY-0007株を利用して生産されたフィターゼを原体とする飼料添加物(2/22_2)(3/16)
評価技術企画WG	2回	・疫学研究で得られた用量反応データへのベンチマークドーズ法の適用について(1/16) ・ベンチマークドーズ法へのベイズ統計学に基づく手法の導入について(3/6)

薬剤耐性菌に関するワーキンググループ	3回	<ul style="list-style-type: none"> ・マルボフロキサシンを有効成分とする牛の注射剤（フォーシル）（2/1） ・養殖水産動物に使用する抗菌性物質の評価の進め方（3/20_1） ・ツラスロマイシンを有効成分とする牛の注射剤（ドラクシンKP）（3/20_2）
有機フッ素化合物（PFAS）ワーキンググループ	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・座長の選出、有機フッ素化合物（PFAS）について（2/27）

3. 意見交換会の開催等

(1) 講師派遣（全3回、うち委員3回）

開催日	開催地	講演会名	依頼者	対象者
1/19	Web	令和4年度食品安全セミナー 「健康食品の安全性について」 （脇委員）	群馬県	一般消費者
2/17	Web	食品の安全性に関するWEB講演会 「ポイントをおさえて予防しよう！ お肉の加熱不足による食中毒」 （香西委員）	仙台市	一般消費者
3/12	徳島県	令和4年度食の安全安心に向けたリスクコミュニケーション 「伝えたい！『健康食品』についての 19のメッセージ」 （脇委員）	徳島県	一般消費者

(2) 学会講演（全2回）

開催日	学会名	内容
3/8	日本農薬学会（浅野委員）	残留農薬の安全性確保のためのリスク評価
3/28	日本家禽学会（山本委員長）	食品健康影響評価のためのリスクプロファイル 鶏肉等における <i>Campylobacter jejuni/coli</i>

(3) 講座（全1回）

開催日	内容	対象者
3/10	食品安全セミナー：健康食品による健康被害を防ぐために	一般消費者

	『健康食品』について－安全な選択をするために (19のメッセージ) (脇委員)	
--	---	--

(4) 意見交換会等 (全1回)

開催日	内容	対象
3/10	健康食品による健康被害を防ぐために 『健康食品』について－安全な選択をするために (19のメッセージ) (脇委員)	報道関係者

4. 情報提供

(1) Facebook、ブログ

健康に被害を及ぼすおそれのある案件、国民の関心が高い案件についての機動的な情報提供。

■ 1月：11記事

閲覧数 (Facebook) 21,527人/月、(ブログ) 2,078人/月

投稿日	記事内容
1/1	新年のご挨拶
1/6	【食品安全委員会 12/19～1/6 の公表事項】
1/10	1/10に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
1/13	【食品安全委員会 1/10～1/13の 公表事項】
1/18	1/17に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
1/20	【食品安全委員会 1/16～1/20 の公表事項】
1/25	1/24に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。 【キッズボックス】カフェインを知ろう (2023年1月号)
1/26	ダイエットや筋力増強効果を期待させる食品には特に注意してください
1/27	【食品安全委員会 1/23～1/27 の公表事項】

1/31	【編集後記：睦月】もうすぐ節分ですが…窒息事故にご注意を！
------	-------------------------------

■ 2月：14記事

閲覧数 (Facebook) 26,782人/月、(ブログ) 2,274人/月

投稿日	記事内容
2/1	1/31に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
2/3	【食品安全委員会 1/30～2/3 の公表事項】
2/7	バングラデシュ政府関係者が食品安全委員会を訪問しました
2/8	2/7に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
	安全に気持ちを贈りましょう♪ ～小麦粉は十分な加熱を！～
2/9	食品安全セミナー「健康食品による健康被害を防ぐために」開催のお知らせ
2/10	【食品安全委員会 2/6～2/10 の公表事項】
2/13	動画を公開しました
2/15	2/14に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
2/17	【食品安全委員会 2/13～2/17 の公表事項】
2/22	2/21に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
	【キッズボックス】農薬について学ぼう② 農薬は体に蓄積するの？ (2023年2月号)
2/24	【食品安全委員会 2/20～2/24 の公表事項】
2/28	【編集後記：如月】「ホワイトデーも！」安全に気持ちを贈りましょう♪ ～小麦粉は十分な加熱を！～

■ 3月：20記事

閲覧数 (Facebook) 79,425人/月、(ブログ) 2,919人/月

投稿日	記事内容
3/1	2/28に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
3/2	食品安全委員会の運営方針などを議論する調査会の委員を募集中！

3/3	【食品安全委員会 2/27～3/3 の公表事項】
3/6	報道関係者との意見交換会を開催しました
3/7	日本薬学会と連携して学会でブース出展を行います
3/8	3/7に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
3/9	ジビエ（野生鳥獣の肉）は必ず中心部までしっかり火を通して食べましょう！
3/10	【食品安全委員会 3/6～3/10 の公表事項】
3/13	【キッズボックス】農薬について学ぼう③ お母さんが食べた時、赤ちゃんへの影響は？（2023年3月号）
3/14	「気をつけたい妊娠中の食事①ー生ハム、加熱していないナチュラルチーズなど」の動画を公開しました
3/15	3/14に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
3/17	【食品安全委員会 3/13～3/17 の公表事項】
3/24	【食品安全委員会 3/20～3/24 の公表事項】
	食品安全委員会の英文電子ジャーナル「Food Safety-The Official Journal of Food Safety Commission」Vol.11, No.1 を公開しました。
	“Food Safety - The Official Journal of the Food Safety Commission of Japan” Volume 11, Number 1 has just been published.
3/27	「気をつけたい妊娠中の食事②加熱不十分な肉 [寄生虫（トキソプラズマ）]」の動画を公開しました
3/29	3/28に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
	健康食品に関する食品安全セミナーを開催しました
3/31	【編集後記：弥生】食中毒を予防して元気な新生活を！
	【食品安全委員会 3/27～3/31 の公表事項】

(2) Twitter

食中毒の防止法等、一般消費者にとって身近で関心（共感）の高いものや、タイムリーなもの、緊急性の高いものを中心に情報発信。

■ 1月：6記事

閲覧数 42,967件/月、フォロワー 1,589人

投稿日	記事内容
1/2	新年 #明けましておめでとうございます ! #食品安全委員会 は本年で設立20周年。今年も国民の皆さんの健康保護を最優先に、食品の安全確保に向けてより一層邁進します。本年もどうぞよろしくお願ひします ! https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12781162207.html
1/6	【食品安全モニターに応募しませんか】 内閣府食品安全委員会では国民の健康保護を最優先として日々邁進しています。食品安全モニターとして、日常で気がついたことの報告や提言などを行ってみませんか。ピンときた方は今すぐ要項をチェック ! https://www.fsc.go.jp/monitor/
1/25	受験シーズン本番 ! 夜も、#コーヒー や #エナジードリンク など #カフェインを含む飲料で勉強をもうひとがんばり ! という方も、飲み過ぎると体調に影響を及ぼすこともあるので大人も子どもも飲みすぎには注意が必要です。カフェインに頼りすぎず、#がんばれ受験生 ! https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12786007382.html
1/26	ダイエット効果をうたう食品に未承認の医薬品成分が含まれ健康被害が生じているとの報道があります。食べて本当に痩せる食品は、作用の仕組みを考えるとリスクが高いです。「『健康食品』の安全な選択をするための19のメッセージ」の動画をぜひ参考にしてください。 https://www.youtube.com/watch?v=kL90_0Ge4fw&list=PL1xlYeJg_L-38jCZrRCSwbfSwaRNwCGC
1/31	2月3日は #節分。#恵方巻 が楽しみですね。でも窒息事故の約16%がご飯類で起きているというデータがあるんです。健康な大人でもご飯による死亡事故が起きています。恵方巻は口いっぱい詰め込まず、少しずつ口に入れて落ち着いて食べましょう。細く短く作るのもお勧めです。 https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12786139924.html
	2月3日は #節分。恵方巻の後はご家族で #豆まき も楽しいですね。でも、窒息の危険があるので、5歳以下のお子さんに豆を食べさせないで ! 豆まきは個包装されたものを使うなどもアイデアです。 https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12786139924.html #子どもの事故防止

■ 2月 : 5記事

閲覧数 79,544件/月、フォロワー 1,670人

投稿日	記事内容
2/8	#2月14日は #バレンタインデー 。#手作りお菓子 を計画中の皆さん、小麦粉は

	製造時に加熱殺菌されていないをご存じですか？生の小麦粉は #食中毒 の危険もあるので要注意！ #十分な加熱 で気持ちと安全を贈りましょう。 https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12788284862.html
2/9	「 #健康食品 による健康被害を防ぐためにはどうしたらいいの？」などの疑問について、『いわゆる「健康食品」に関する19のメッセージ』を取りまとめた脇昌子委員が解説するセミナーを3/10(金)14:00～開催します。現在参加者募集中！詳細は→ https://www.fsc.go.jp/koukan/annai/annai20230310.html
2/13	対象者限定で実施したセミナー『食品に生える「かび」の基礎知識と「かび毒」のリスク評価』の、浅野 哲委員による情報提供動画を公開しました。身近なかびの意外な一面がわかるかも？ → https://www.youtube.com/watch?v=rn526sLd51A
2/22	食品の安全に関してお子さまといっしょに読んでいただきたいページ「キッズボックス」の2023年2月号「 #農薬 について学ぼう② 農薬は体に蓄積するの？」を、当委員会ウェブサイトに掲載しました。ぜひご覧ください。 https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12790356307.html
2/28	#3月14日 は #ホワイトデー 。 #手作りお菓子 を計画中の皆さん、ヘラについた生地を舐めたり、生焼けのまま食べるのは#食中毒 の危険もあるので要注意！ #十分な加熱 で、ホワイトデーも気持ちと安全を贈りましょう。 https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12791322124.html

■ 3月：8記事

閲覧数 268,373件/月、フォロワー 1,753人

投稿日	記事内容
3/6	#食品安全委員会では、「#健康食品 の #健康被害 を未然に防ぐために」というテーマで報道関係者との意見交換会を開催しました。参加者全員が健康食品について真摯に考え、状況を改善するための意見を出し合い、大変有意義な意見交換会となりました。意見交換会の速報はこちら https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12792422350.html
3/9	カモや #カラス、シカやイノシシなど #ジビエ （野生鳥獣の肉）を生で食べると、#E型肝炎 や腸管出血性大腸菌 #0157 感染症、また寄生虫による感染症などを起こし、死亡する可能性もあります。食べる際は必ず中心部までしっかり火を通して食べましょう！ https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12792904799.html
3/14	食品の安全に関してお子さまといっしょに読んでいただきたいページ「キッズボックス」の2023年3月号は「お母さんが食べたとき、赤ちゃんへの影響は？」です。ぜひご覧ください。 https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12793630730.html

	<p>#妊娠中 の食事は判断が難しいですね。でも、</p> <p>①加熱していないナチュラルチーズや生ハムなど</p> <p>②加熱不十分なお肉</p> <p>③ビール、ワインなどのアルコール</p> <p>の3つさえ避ければ大きな問題は起こらないことや、具体的な対処法を脇昌子委員がわかりやすく解説します。 https://www.youtube.com/watch?v=0Bn6xU5c5qc</p>
3/22	<p>今年は春の訪れが早く、早くも有毒植物の誤食のニュースが届いています。本格的な山菜採り、家庭菜園シーズンの前に「山菜採りや家庭菜園では植物を1本1本確認し、わからないときは「採らない、食べない、人にあげない」」ことを再確認しておきましょう。</p>
3/27	<p>#妊娠中 の食事は心配事が多いですね。初めて感染すると胎児などに問題を起こす、#トキソプラズマ の疑問点や対処方法について、脇昌子委員がわかりやすく解説します。 →https://www.youtube.com/watch?v=nv2pcnTy0jA</p>
3/29	<p>#食品安全委員会 では、ダイエット用ゼリーでの健康被害が報じられたことから、「#健康食品 の #健康被害 を未然に防ぐために」と題した意見交換会を開催しました。ここで脇昌子委員が、近年の健康被害や事件の状況も踏まえて話題提供した動画を公開しています。</p> <p>https://www.youtube.com/watch?v=alxWpixMGow</p>
3/31	<p>明日から #新年度 。新生活を迎えられる皆様、#バランスの良い食事 と #食中毒予防 で良いスタートを！応援してます！ https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12796208349.html</p>

(3) YouTube

食品の安全性に関する科学的な知識の普及啓発や、その他食品の安全に関する情報についての動画による情報発信

(1～3月の動画合計視聴回数10,454回、チャンネル登録者数1,197人(3月末時点))

公開月日	記事内容	視聴回数 (公開日～3/31)
2/13	食品に生える「かび」の基礎知識と「かび毒」のリスク評価 (食品安全モニターセミナーより)	1817
3/14	気をつけたい妊娠中の食事① 生ハム、加熱していないナチュラルチーズなど	667
3/27	気をつけたい妊娠中の食事② 加熱不十分な肉〔寄生虫(トキソプラズマ)〕	167
3/29	食品安全セミナー 「健康食品による健康被害を未然に防ぐために」	195

食品健康影響評価の審議状況

2023.3.31現在

区分	諮問案件						自ら評価 評価終了 注5)
	要請件数 注1、2)	うち 令和4年度分	審議中 注3)	意見 募集中 注4)	評価終了 件数	うち 令和4年 度分	
添加物	310	8	7	1	302	4	
栄養成分添加物	2				2	1	
香料	7				7		
農薬	1384	58	161	3	1220	44	
うちポジティブリスト関係	544	1	130		414	3	
うち清涼飲料水	25				25		
うち飼料中の残留農薬基準	59		16		43	1	
動物用医薬品	662	22	20	1	641	18	
うちポジティブリスト関係	138	1	11	1	126	6	
器具・容器包装	21		1		20		
汚染物質等	68		1		67		3
うち清涼飲料水	52				52		
微生物・ウイルス	21				21		2
プリオン	67		8		59		14
かび毒・自然毒	9				9		5
遺伝子組換え食品等	375	8	14	2	359	14	
新開発食品	91				91		3
肥料・飼料等	323	12	29	3	291	15	
うちポジティブリスト関係	142		21	1	120	8	
薬剤耐性菌	72	3	10		62	1	1
高濃度にジアシルグリセロールを含む食品に関するWG	1				1		
食品による窒息事故に関するWG	1				1		
放射性物質の食品健康影響に関するWG	2				2		
アレルギーを含む食品に関するWG							1
その他(指定成分、アルミニウム等)	2				2		1
合計	3418	111	251	10	3157	97	30

- (注) 1 リスク管理機関から、評価要請後に取り下げ申請があった場合には、その分を要請件数から減じている。
2 評価の過程で新たに審議する必要がある案件が生じた場合には、評価終了時にその案件数を要請件数に加算している。
3 「審議中」欄には、審議継続の案件のほか、今後検討を開始するものを含む。
4 「意見募集中」欄には、意見情報の募集を締め切った後に検討中のものも含む。
5 自ら評価案件については、「評価終了」の欄では、複数省庁に答申したもの、答申が複数案件となったもの等について、その数を記入しているものもある。
6 「飼料中の残留農薬基準」欄については、ポジティブリスト制度の導入に際して、飼料中の残留基準が設定された農薬についての食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件数である。
7 「薬剤耐性菌」欄には、肥飼料・微生物合同調査会(H18.3.6～H27.8.24)で審議したものも含む。

委員会の意見の聴取に関する案件の審議状況

(2023年3月31日現在)

参考2

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2003/12/8	農	薬剤耐性菌 飼料添加物として指定された抗菌性物質、動物用医薬品のうち、飼料添加物として指定されている抗菌性物質と同一又は同系統で薬剤耐性の交差が認められる抗菌性物質により選択される薬剤耐性菌※ (水生動物に使用するスルフォアミド系合成抗菌剤、テトラサイクリン系抗生物質及びマクロライド系抗生物質。)	3
2004/10/29	農	薬剤耐性菌 チアンフェニコールを有効成分とする牛及び豚の注射剤 (ネオマイゾン注射液及びバシット注射液) [耐]、アンピシリンナトリウムを有効成分とする牛の注射剤 (注射用ビクシリン) [耐]	2
2005/2/14	厚	農薬 ジコホール	1
2005/8/5	農	動物用医薬品 薬剤耐性菌 スルファメトキサゾール及びトリメトプリムを有効成分とする豚の飲水添加剤(動物用シノラル液) [肥]、動物用医薬品 ホスホマイシンを有効成分とする牛の注射剤 (動物用ホスミンS (静注用)) [耐]	2
2005/9/13	厚	動物用医薬品 スルファメトキサゾール[肥]	1
2006/7/18	厚	動物用医薬品 スルファメトキサゾール☆[肥]	1
2006/7/18	厚	農薬 ジコホール☆	1
2006/12/19	厚	農薬 フリラゾール☆	1
2007/1/12	厚	農薬 イマゼタピルアンモニウム塩☆、ピノキサデン☆	2
2007/2/6	厚	農薬 スピロキサミン☆	1
2007/2/6	厚	動物用医薬品 アレスリン☆、クロルマジノン☆、スルフィソゾール☆	3
2007/3/6	厚	農薬 トリチコナゾール☆	1
2007/3/20	厚	動物用医薬品 スルファジメトキシ☆[肥]、スルファモメトキシ☆[肥]	2
2007/6/5	厚	農薬 メソスルフロメチル☆、スルフェントラゾン☆	2
2007/10/2	厚	農薬 ジクロメジン<一部>☆	2
2007/12/18	厚	農薬 クロピラリド☆、イソキサジフェンエチル☆	2
2008/3/11	厚	農薬 酸化プロピレン☆、プロディファコウム	2
2008/3/25	厚	農薬 イプロバリカルブ☆、スルホスルフロ、ピリデート、フッ化スルフリル	4
2008/6/3	厚	動物用医薬品 トビシリン[肥]	1
2008/7/8	厚	農薬 クロキントセットメキシル☆、クロジナホッププロパルギル☆	2
2008/7/8	厚	器具・容器包装 ビスフェノールAがヒトの健康に与える影響について※	1
2008/9/5	厚	汚染物質 カドミウム	1
2009/2/3	厚	農薬及び動物用医薬品 ホキシム☆	2
2009/2/9	厚	農薬 エチオン☆、オキシデメトンメチル☆、ジクロラン☆、ジノカップ☆、フェンプロピモルフ☆、ベナラキシル☆、ホレート☆	7
2009/3/24	厚	農薬 パラチオンメチル☆	1
2009/3/24	厚	農薬及び動物用医薬品 ジクロロボス及びナレド☆	2
2010/2/16	厚	対象外物質 アスタキサンチン☆[肥]、β-アポ-8'-カロチン酸エチルエステル☆[肥]、β-カロテン☆[肥]、酒石酸☆[肥]、トウガラシ色素☆[肥]、乳酸☆<農薬用途もあり>[肥]、マリーゴールド色素☆[肥]、メナジオン☆[肥]、レチノール☆[肥]	10
2010/3/1	厚	農薬 フルロキシピル☆	1
2010/5/11	厚	農薬 クロルデン☆	1
2010/8/12	厚	農薬 ハロキシホップ☆	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2010/9/13	厚	農薬 クロマゾン☆、トリクロピル☆	2
2010/9/27	厚	農薬 酸化フェンブタズ☆	1
2010/11/12	厚	農薬 イマザリル☆、ジフルフェンゾピル☆、ジメチピン☆、テルブホス☆、トリアスルフロン☆、パラチオン☆、ビクロゾリン☆、モノクロトホス☆	8
2010/11/15	農	農薬 テルブホス〈飼〉☆	1
2010/12/10	厚	農薬及び動物用医薬品 クロルフェンビンホス☆	2
2010/12/10	厚・農	農薬及び動物用医薬品 メトプレン☆〈一部〈飼〉〉	3
2011/1/24	厚	農薬 ペンコナゾール☆	1
2011/2/10	厚	農薬 エンドスルフアン☆、クロリムロンエチル☆、クロルタールジメチル☆	3
2011/3/25	厚	農薬 エタメツルフロンメチル☆、ジスルホトン☆、ブロモキシニル☆	3
2011/4/19	厚	添加物 カルミン	1
2011/4/25	農	農薬 ブロモキシニル☆〈飼〉	1
2011/9/22	厚	農薬 EPTC☆、アミノピラリド☆、イオドスルフロンメチル☆、2,4-DB☆、クロルスルフロン☆、シクロキシジム☆、ジフェンゾコート☆、テクナゼン☆、ニコスルフロン☆、マレイン酸ヒドラジド☆、メトスルフロンメチル☆	11
2011/10/11	厚	農薬 ジクロホップメチル☆、トリベヌロンメチル☆、ピクロラム☆、フェノキサプロップエチル☆、ブタフェナシル☆、フルオメツロン☆、アトラジン☆	7
2011/10/11	農	農薬 アトラジン☆〈飼〉	1
2011/11/18	厚	農薬 トラルコキシジム☆、フェノキシカルブ☆、プロスルフロン☆	3
2011/12/19	厚	プリオン 牛海綿状脳症（BSE）対策の見直し（オランダ）	1
2012/1/23	厚	農薬及び動物用医薬品 シハロトリン☆	2
2012/1/23	農	農薬 エチオン☆〈飼〉、ホレート☆〈飼〉、シハロトリン☆〈飼〉、ジクロルボス及びナレド☆〈飼〉	4
2012/1/23	厚	動物用医薬品 スルファジミジン☆〔肥〕	1
2012/3/26	厚	農薬 リムスルフロン☆	1
2012/3/26	厚	農薬及び動物用医薬品 エマメクチン安息香酸塩☆	2
2012/5/21	厚	農薬 4-クロルフェノキシ酢酸☆、トリデモルフ☆、フラムプロップメチル☆	3
2012/7/18	厚	農薬 テフルトリン☆	1
2012/8/21	厚	農薬 フサライド☆、フルスルファミド☆	2
2012/9/18	厚	農薬 メコプロップ☆	1
2013/1/22	農	農薬 クロルピリホスメチル☆〈飼〉、クロルフェンビンホス☆〈飼〉、シマジン☆〈飼〉、パラチオン☆〈飼〉	4
2013/1/30	厚	農薬 クロルピリホスメチル☆、シマジン☆	2
2013/3/12	厚	農薬 アイオキシニル☆、エテホン☆、オキサミル☆、カルフェントラゾンエチル☆、クロリダゾン☆、ターバシル☆、ピリミホスメチル☆、フルシトリネート☆、ホルクロルフェニユロン☆、メタミトロン☆、メチダチオン☆、レナシル☆	12
2013/3/12	農	農薬 ピリミホスメチル☆〈飼〉	1
2013/4/2	厚	プリオン プリオン ポーランドから輸入される牛肉及び牛の内臓について※	1
2013/6/10	農	農薬 γ-BHC☆〈飼〉、ジメトエート☆〈飼〉、メチダチオン☆〈飼〉	3
2013/6/12	厚	農薬 アラニカルブ☆、イマザキン☆、ジウロン☆、シプロコナゾール☆、ジメトエート☆、フルキンコナゾール☆	6

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2013/8/20	厚	農薬 DBEDC■〈一部☆〉、ノニルフェノールスルホン酸銅■〈一部☆〉、イマザモックスアンモニウム塩☆、ヒメキサゾール☆、メトリブジン☆、リニュロン☆	8
2013/8/20	厚	農薬及び動物用医薬品 ジヒドロストレプトマイシン及びストレプトマイシン☆[肥]	2
2014/9/9	厚	農薬 ピラゾリネート☆	1
2015/1/8	厚	プリオン スウェーデンから輸入される牛肉及び牛の内臓 ※	1
2015/5/14	厚	プリオン スイス及びリヒテンシュタインから輸入される牛肉及び牛の内臓※	1
2015/9/30	厚	プリオン イタリアから輸入される牛肉及び牛の内臓※	1
2015/12/18	厚	プリオン 牛海綿状脳症（BSE）国内対策の見直し※	1
2017/4/19	厚	農薬 ピレトリン☆	1
2017/8/3	厚	プリオン 英国から輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓 ※	1
2017/11/30	厚	遺伝子組換え食品等 ミラクリン発現トマト（TU-IP105B-1）（食品）■	1
2017/12/19	農	遺伝子組換え食品等 ミラクリン発現トマト（TU-IP105B-1）（飼料）■	1
2018/7/4	農	動物用医薬品 パルネムリン塩酸塩を有効成分とする豚の飼料添加剤（エコノア1%プレミックス及び同10%プレミックス）■[耐]	1
2019/2/27	農	動物用医薬品 アモキシシリン水和物を有効成分とする牛及び豚の注射剤（アモスタックLA注）■[耐]	1
2019/10/24	厚	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性サトウキビ CTC175-A■、CA02-1191株を利用して生産されたL-グルタミン酸ナトリウム■	2
2020/2/13	厚	動物用医薬品 ジニトルミド ☆[肥]	1
2020/3/17	厚	動物用医薬品 ジブチルサクシネート☆、ノルジェストメット☆	2
2020/3/17	厚	飼料添加物 スルファクロールピリダジン☆、スルファジアジン☆、スルファドキシム☆、スルファモイルダプソン☆、スルファキノキサリン☆	5
2020/5/13	厚	プリオン 「ドイツから輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓」※	1
2020/9/24	厚	Ra α3114株を利用して生産されたプロテアーゼ■	1
2021/5/14	農	遺伝子組換え食品等 DHA産生及び除草剤グルホシネート耐性キャノーラ（NS-B50027-4）（飼料）■	1
2021/5/17	厚	遺伝子組換え食品等 DHA産生及び除草剤グルホシネート耐性キャノーラ（NS-B50027-4）（食品）■	1
2022/3/23	厚	農薬 ヨウ化メチル■	1
2022/3/15	農	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP915635）（飼料）■	1
2022/3/16	厚	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP915635）（食品）■	1
2022/4/21	厚	農薬及び動物用医薬品 シペルメトリン■	1
2022/6/15	農	薬剤耐性菌 アミノグリコシド系抗生物質が動物用医薬品として家畜に投与された場合に選択される薬剤耐性菌	1
2022/7/13	厚	農薬 プロチオホス■	1
2022/8/23	厚	添加物 亜硫酸ナトリウム■、次亜硫酸ナトリウム■、二酸化硫黄■、ピロ亜硫酸カリウム■、ピロ亜硫酸ナトリウム■	5
2022/8/24	厚	農薬及び飼料添加物 シンナムアルデヒド（ケイ皮アルデヒド）（対象外物質）■	2
2022/8/24	厚	農薬 イミシアホス■	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2022/9/28	農	農薬 チオベンカルブ※、チフルザミド※、ブタクロール※	3
2022/9/27	厚	遺伝子組換え食品等 JPAo010株を利用して生産されたポリフェノールオキシダーゼ■	1
2022/12/1	厚	添加物 亜塩素酸水■	1
2022/12/7	農	動物用医薬品 ツラスロマイシン及びケトプロフェンを有効成分とする牛の注射剤（ドラクシンKP）■ [動] [肥] [耐]	3
2022/12/14	厚	農薬 チオジカルブ及びメソミル■	1
2022/12/14	厚	農薬及び動物用医薬品 イミダクロプリド■、クロチアニジン■、ピペロニルブトキシド■	6
2022/12/14	厚	動物用医薬品 プラレトリン■	1
2022/12/14	農	農薬 1,3-ジクロロプロペン※、アセタミプリド※、イソチアニル※、イミダクロプリド※、クロチアニジン※、ジノテフラン※、チアメトキサム※	7
2022/12/14	農	動物用医薬品 クロチアニジンとd-d-T80-プラレトリンを有効成分とする畜舎噴霧剤（ヌーベルショット、トリプルアクセル）■	1
2023/1/10	厚	遺伝子組換え食品等 Geobacillus stearothermophilus TP7株を使用して生産されたプロテアーゼ■、Trichoderma reesei RF6197株を使用して生産されたペクチナーゼ■、Trichoderma reesei RF6201株を使用して生産されたペクチナーゼ■	3
2023/1/18	農	肥料・飼料等 遺伝子組換え技術によって得られたKomagataella phaffii を利用して生産されたフィターゼ■	1
2023/1/25	農	農薬 グリホサート※	1
2023/3/7	農	肥料・飼料等 3-ニトロオキシプロパノール■、JPAo012株から生産されたフィターゼー	2
2023/3/9	厚	農薬 発芽スイートルーピン抽出たんぱく質■、1-メチルシクロプロペン■、クロルフルアズロン■、テブフェンピラド■	4
2023/3/9	厚	農薬及び動物用医薬品 ブロフラニリド■	2
2023/3/8	厚	動物用医薬品 フェノキシエタノール■	1
2023/3/8	厚	肥料・飼料等 3-ニトロオキシプロパノール■	1
2023/3/8	農	動物用医薬品 フェノキシエタノールを有効成分とするすずき目魚類の薬浴剤（製剤名：バイオネンネ）■、ブロフラニリドを有効成分とする鶏舎噴霧剤（リブケアFL）■	2
2023/3/22	農	農薬 エスプロカルブ※、フェンメディファム※、フサライド※	3

(注)

251

☆印は、ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件である。

※印は、食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件である。

■印は、企業申請案件である（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）。

◎印は、食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価である。

[肥]印は、肥料・飼料等専門調査会が担当する評価案件である。

[耐]印は、薬剤耐性菌に関する評価が必要なもの。

II 専門調査会における審議結果（案）について意見募集を行っているもの

募集期間	対象となる審議結果（案）	
2022/10/26～2022/11/24	動物用医薬品 ヒドロコルチゾン☆★	1
2023/2/1～2023/3/2	添加物 ポリビニルアルコール■★	1
2023/2/8～2023/3/9	遺伝子組換え食品等 DIDK-0176株を利用して生産されたホスホリパーゼ■★	1
2023/2/15～2023/3/16	肥料・飼料等 エトパベート☆★	1
2023/2/15～2023/3/16	遺伝子組換え食品等 ROM株を利用して生産されたα-アミラーゼ■★	1
2023/2/22～2023/3/23	農薬 ジクロロメゾチアズ■★、ジメスルファゼット■★	2
2023/3/15～2023/4/13	農薬 1,4-ジメチルナフタレン■	1
2023/3/15～2023/4/14	肥料・飼料等 普通肥料公定規格改正_菌体りん酸肥料-	1
2023/3/29～2023/4/28	肥料・飼料等 マルボフロキサシンを有効成分とする牛の注射剤（フォーシル）■	1

10

★は案件については意見募集は終了している。

☆印は、ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件である。

※印は、食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件である。

■印は、企業申請案件である（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）。

◎印は、食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価である。

[肥]印は、肥料・飼料等専門調査会が担当する評価案件である。

[耐]印は、薬剤耐性菌に関する評価が必要なもの。

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和4年度）

通知日	通知先	食品健康影響評価の対象	
2022/4/13	厚	肥料・飼料等 ジアベリジン☆	1
2022/4/27	厚	遺伝子組換え食品等 JPAN004株を利用して生産された α -アミラーゼ■、JPBL007株を利用して生産された α -アミラーゼ■	2
2022/5/10	厚	農薬 アセキノシル■、トリネキサパックエチル■、ピラジフルミド■、トリフロキシストロビン■	4
2022/5/18	厚	肥料・飼料等 クエン酸（対象外物質）☆	1
2022/5/18	厚	栄養成分添加物 25-ヒドロキシコレカルシフェロール■	1
2022/5/18	厚	農薬 ピリダリル■、ホスチアゼート■	2
2022/5/26	厚	農薬 ゾキサミド■	1
2022/5/26	厚	動物用医薬品 チオプロニン☆	1
2022/5/26	農	肥料・飼料等 アンピシリンナトリウムを有効成分とする牛の注射剤（注射用ビクシリン）【再審査】■、エンラマイシン☆	2
2022/5/31	厚	農薬 イソピラザム■、フルジオキシニル■	2
2022/6/1	厚	動物用医薬品 スルファチアゾール■	1
2022/6/1	農	遺伝子組換え食品等 Komagataella phaffii BSY0007株を利用して生産されたフィターゼ■	1
2022/6/8	厚	農薬 くん液蒸留酢酸（対象外物質）■	1
2022/6/16	厚	遺伝子組換え食品等 線虫抵抗性及び4-ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ阻害型除草剤耐性ダイズGMB151（食品）■、線虫抵抗性及び4-ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ阻害型除草剤耐性ダイズGMB151（飼料）■、JPBL012株を利用して生産されたプロテアーゼ■	3
2022/6/28	厚	農薬 イソフェタミド■、クロルフルアズロン■、パラコート☆〈飼〉	4
2022/6/30	農	動物用医薬品 オメプラゾールを有効成分とする馬の強制経口投与剤（ガストロガード）■	1
2022/7/13	厚	農薬 ピリプロキシフェン■、フルピラジフロロン■、メトキシフェノジド■	3
2022/7/20	厚	農薬 フルトラニル■	1
2022/7/19	厚	肥料・飼料等 ジクロキサシリン☆	1
2022/7/26	厚	動物用医薬品 モサプリド■	1
2022/8/2	農	動物用医薬品 豚繁殖・呼吸障害症候群生ワクチン（ユニストレインPRRS-10、同50、同501D）■、鶏大腸菌症生ワクチン（ガルエヌテクトCBL）■、鶏伝染性気管支炎生ワクチン（ガルエヌテクトS95-1B）■	3
2022/8/9	厚	添加物 硫酸銅-	1
2022/8/9	厚	農薬 メトプロムロン■	1
2022/8/9	厚	農薬及び動物用医薬品 イソプロチオラン■	1
2022/8/30	農	肥料・飼料等 25-ヒドロキシコレカルシフェロール■	1
2022/8/30	厚	遺伝子組換え食品等 Bacillus subtilis NTI05 (pHYT2Aopt) 株を利用して生産されたシクロデキストリングルカノトランスフェラーゼ■	1
2022/8/31	厚	農薬 ジェトフェンカルブ■、バリダマイシン■、ピリダクロメチル■	3
2022/9/6	厚	添加物 フィチン酸カルシウム-	1

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和4年度）

通知日	通知先	食品健康影響評価の対象	
2022/9/6	農	動物用医薬品 クエン酸モサプリドを有効成分とする牛の強制経口投与剤（牛用プロナミド散2%）■、牛ウイルス性下痢ウイルス（Npro及びErns遺伝子欠損1型・2型）生ワクチン（ボベラ）■	2
2022/9/20	厚	動物用医薬品 ジミナゼン☆、イソシンコメロン酸ニプロピル☆、マホブラジン☆	3
2022/9/20	厚	肥料・飼料等 ピリメタミン☆	1
2022/10/12	厚	農薬 フルミオキサジン■、アミスルブロム■、シメコナゾール■、メタルデヒド■	4
2022/10/26	厚	農薬 アメトクトラジン■、ビフェントリン■、メフェントリフルコナゾール■	3
2022/10/25	農	動物用医薬品 鶏コクシジウム感染症（アセルブリナ、テネラ、ネカトリックス、ブルネッティ、マキシマ）混合生ワクチン（エバロン）■、鶏コクシジウム感染症（アセルブリナ、テネラ、プレコックス、マキシマ、ミチス）混合生ワクチン（エバント）■	2
2022/11/8	厚	肥料・飼料等 アンプロリウム☆、セフロキシム☆	2
2022/11/8	厚	遺伝子組換え食品等 CIT-No. 1株を利用して生産されたL-シトルリン■	1
2022/11/9	厚	添加物 L-システイン塩酸塩■	1
2022/12/6	厚	肥料・飼料等 オルメトプリム☆、Corynebacterium glutamicumにより生産された塩酸L-ヒスチジンを有効成分とする飼料添加物■	2
2022/12/14	厚	農薬 ジフェノコナゾール■、インピルフルキサム■、セトキシジム■、ピカルブトラゾクス■、フルキサピロキサド■	5
2023/1/19	農	動物用医薬品 馬鼻肺炎生ワクチン（エクエヌテクトERP）■	1
2023/1/19	厚	農薬 ピジフルメトフェン■、ピリベンカルブ■	2
2023/1/23	農	肥料・飼料等 ギ酸を有効成分とする飼料添加物（水酸化ナトリウム混和製剤）■	1
2023/2/1	厚	遺伝子組換え食品等 長鎖多価不飽和脂肪酸含有及びイミダゾリノン系除草剤耐性セイヨウナタネLBFLFK（食品）■	1
2023/2/1	農	遺伝子組換え食品等 長鎖多価不飽和脂肪酸含有及びイミダゾリノン系除草剤耐性セイヨウナタネLBFLFK（飼料）■	1
2023/2/1	厚	農薬 グルホシネート■	1
2023/2/8	厚	動物用医薬品 クロステボル☆、トリブロムサラン☆	2
2023/2/20	厚	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP23211）（食品）■	1
2023/2/20	農	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP23211）（飼料）■	1
2023/2/24	厚	農薬 ジメトモルフ■	1
2023/3/1	厚	遺伝子組換え食品等 JPBL013株を利用して生産されたα-アミラーゼ■	1
2023/3/1	厚	添加物 第10版食品添加物公定書の作成のための規格基準の改正ー	1
2023/3/8	厚	動物用医薬品 シフェノトリン■	1
2023/3/8	農	動物用医薬品 d・d-T-シフェノトリンを有効成分とする豚舎噴霧剤（カーボジェット、ファームクリン）■	1
2023/3/9	農	薬剤耐性菌 マルボフロキサシンを有効成分とする牛の注射剤（フォーシル）■	1

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和4年度）

通知日	通知先	食品健康影響評価の対象	
2023/3/15	厚	農薬 フェナミホス☆、酸化亜鉛■、シフルフェナミド■、プロチオコナゾール■	4
2023/3/16	厚	肥料・飼料等 次硝酸ビスマス■	1
2023/3/16	農	肥料・飼料等 次硝酸ビスマスを有効成分とする牛の乳房注入剤（オルベシール）■	1
2023/3/29	厚	遺伝子組換え食品等 JPAo009株を利用して生産されたグルコースオキシダーゼ■	1
2023/3/29	厚	農薬 キザロホップエチル及びキザロホップPテフリル■	1

97

（注）

☆印は、ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件である。

※印は、食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件である。

■印は、企業申請案件である（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）。

◎印は、食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価である。

[肥]印は、肥料・飼料等専門調査会が担当する評価案件である。

[耐]印は、薬剤耐性菌に関する評価が必要なもの。

IV その他

通知日	通知先	件名
2004/1/30	厚・農・環	遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準 遺伝子組換え植物の掛け合わせについての安全性評価の考え方
2004/3/18	農	普通肥料の公定規格に関する食品健康影響評価の考え方
2004/3/25	厚・農・環	遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準
2004/5/6	厚・農・環	遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方
2004/8/5	厚・農	特定保健用食品の安全性評価に関する基本的考え方
2004/9/30	農	家畜等への抗菌性物質の使用により選択される薬剤耐性菌の食品健康影響に関する評価指針
2005/4/28	厚・農・環	遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物のうち、アミノ酸等の最終産物が高度に精製された非タンパク質性添加物の安全性評価の考え方
2006/6/29	厚・農	暫定基準が設定された農薬等の食品健康影響評価の実施手順
2007/9/13	厚・農	食品により媒介される微生物に関する食品健康影響評価指針（暫定版）
2008/6/26	厚・農・環	遺伝子組換え食品（微生物）の安全性評価基準
2010/5/27	厚	添加物に関する食品健康影響評価指針
2016/5/17	厚	香料に関する食品健康影響評価指針
2017/7/18	厚	添加物に関する食品健康影響評価指針（改正） 栄養成分関連添加物に関する食品健康影響評価指針 添加物（酵素）に関する食品健康影響評価指針
2018/4/10	厚・農	動物用医薬品に関する食品健康影響評価指針
2018/9/25	厚・農	飼料添加物に関する食品健康影響評価指針 動物用医薬品に関する食品健康影響評価指針（改訂）
2019/5/28	厚	食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針
2019/10/1	厚・農	残留農薬に関する食品健康影響評価指針
2019/10/29	厚・農	食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の活用に関する指針
2019/11/13	厚・農	遺伝子組換え植物の掛け合わせについての安全性評価の考え方
2020/3/24	厚・農	食品安全委員会専門調査会等運営規定 改正
2020/6/16	厚・農	残留農薬の食品健康影響評価におけるコリンエステラーゼ阻害作用を有する農薬の取扱いについて
2020/7/7	厚・農	暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について
2020/10/6	厚	食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針（改訂）
2021/4/6	厚・農	残留農薬に関する食品健康影響評価指針（改訂）
2021/5/18	厚・農	飼料添加物に関する食品健康影響評価指針
2021/9/29	厚	添加物に関する食品健康影響評価指針（改正） 香料に関する食品健康影響評価指針（改正） 添加物（酵素）に関する食品健康影響評価指針（改正） 栄養成分関連添加物に関する食品健康影響評価指針（改正）
2022/3/22	農	家畜等への抗菌性物質の使用により選択される薬剤耐性菌の食品健康影響に関する評価指針の一部改正 食品を介してヒトの健康に影響を及ぼす細菌に対する抗菌性物質の重要度のランク付けについての一部改正
2022/6/21	厚・農	食品により媒介される微生物等に関する食品健康影響評価指針（改正）